

# グラフでみるきょうたんご

## 参考

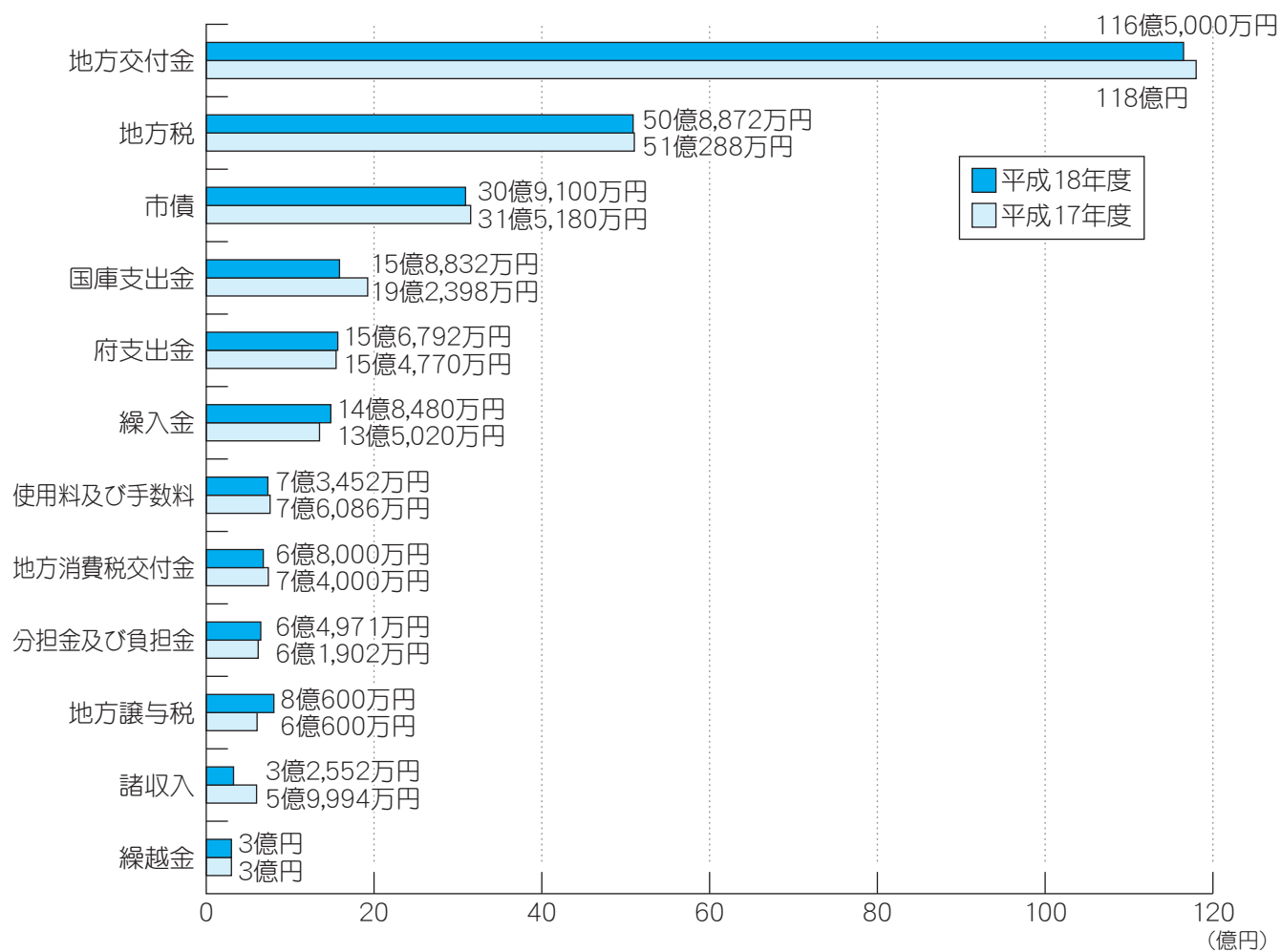
ご覧いただく際のご参考にしてください。

- 市の予算は、「年度」という期間を使っています。  
平成17年度とは、平成17年4月1日～平成18年3月31日までを言います。  
平成18年度とは、平成18年4月1日～平成19年3月31日までを言います。
- 京丹後市の人口 6万4,289人  
(平成18年3月31日現在の住民基本台帳による数値です)  
市の借金や貯金の1人あたりの金額を計算する基礎に使用しました。

## 平成18年度の収入の内訳

市の収入で一番金額の多いものは、国から配分される地方交付税の116億5,000万円で、市税が50億8,872万円、次いで市債（借金のことで、地方債とも呼ばれます）が30億9,100万円の順となっています。

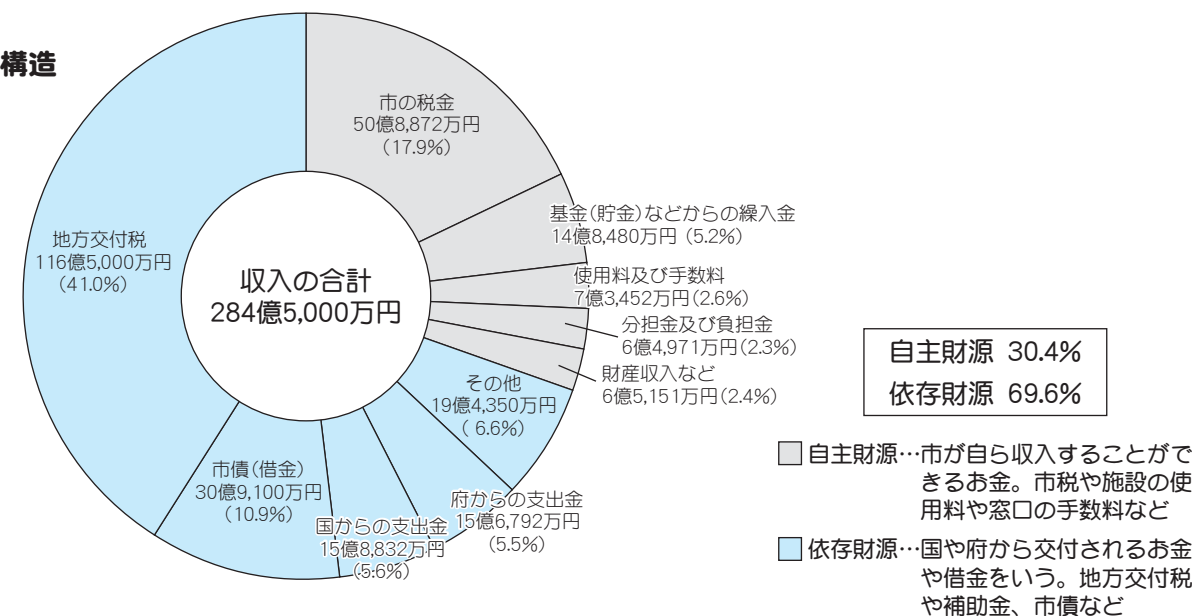
## 主な収入比較



財政基盤の安定や市民のニーズに応じた自主性のある行政サービスを提供するためには、一般的に自主財源の割合が高いほど望ましいと考えられています。

市の収入総額284億5,000万円に占める割合は、自主財源が86億926万円で30.4%、依存財源が198億4,074万円で69.6%となっています。国や府からもらえるお金や借金に頼った収入構造といえます。

## 収入の構造



## 平成18年度の支出の内訳

平成17年度と平成18年度の一般会計予算をその目的ごとにグラフにしました。平成18年度の予算でみると民生費（老人福祉、児童福祉など）が72億8,941万円と最も多く、次いで公債費（借金の返済金）の55億2,688万円、衛生費（医療対策、環境保全など）の31億6,302万円、土木費（道路や公園の整備など）の27億49万円という順になっています。17年度と比較すると、衛生費が2億543万円増えています。これは、網野町域の水不足を解消するための広域給水事業を行う上水道事業会計へ2億円の出資金を計上しているためです。

## 支出比較 (目的別)

